

IMARI

# 伊万里

## 市議会だより

平成26年  
(2014年)

4

第49号

平成26年度当初予算  
214億5,000万円  
(前年比-4.1%)

3月補正額

3億2,597万8千円

補正後の予算

248億2,333万7千円

(前年比+9.6%)



★平成26年第2回定例会は6月9日(月)開会予定です。

## 平成26年伊万里市議会第1回定例会 会期日程

3月

3月3日～26日 23日間  
開議時刻 午前10時

日	種別	内容
3(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 37件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
5(水)	本会議	議案等に対する質疑
6(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
7(金)	休会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致)
10(月)	休会	特別委員会(防災・環境施設)
11(火)	本会議	一般市政に対する質問
12(水)	本会議	一般市政に対する質問
13(木)	本会議	一般市政に対する質問 市長提出追加議案 1件……上程 市長提出追加議案の提案理由説明 議案に対する質疑
17(月)	休会	常任委員会
19(水)	休会	常任委員会
20(木)	休会	正副委員長会
26(火)	本会議	市長提出追加議案1件、議会議案1件、 意見書案1件……一括上程 市長提出追加議案の提案理由説明 議案に対する質疑 議会議案等の提案理由説明 議会議案等に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会報告 特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

## 議会ホットコーナー

### 観光ポスター約20年振りに一新



今回、刷新された2種類の大型ポスターは、伊万里の観光PRを目的に、福岡都市圏約200カ所へ配布されました。

博多駅や博多バスターミナル、ホテルなどの宿泊施設へ掲示され、更なる交流人口の拡大に、大きく期待を寄せているところです。

### 次の人事案件を同意・承認しました

#### ○公平委員会委員

吉富 伸克氏(新任)

#### ○固定資産評価審査委員会委員

森 日出子氏(再任)

金子 智美氏(再任)

有吉 寛氏(新任)

## 意見書

○このころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書

このころの健康危機を克服し、安心して生活できる社会、活力ある社会を実現するためには、このころの健康を国の重要施策と位置づけ、総合的で長期的な施策を実行することが必要である。よって、「このころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める意見書を国会及び政府に対し提出したいので、この案を提出する。



# 2014年度 予算を見る

今議会で新年度の当初予算を決定しましたが、一般会計総額「214億5,000万円」と言われても、ピンと来ない方もあるでしょう。そこで、市民一人当たりではどのような額になるのかを知るために、単純に総額を人口（57,000人）で割ってみました。皆さんから頂く税金の使い道をお知らせします。

	市民一人あたり(円)	主な内容
<b>歳入総額</b>	<b>37万6,315</b>	市税、国・県からの交付金・補助金、利用者負担金など
（市税）	（11万5,423）	（市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など）
<b>歳出総額</b>	<b>37万6,315</b>	（職員の人件費は、各々の事業の中に計上されています。）
議会費	5,036	議会運営、議員報酬、政務活動費、視察・議会だよりの経費
総務費	4万5,882	市役所の運営、地域交通、伊万里湾開発、広報
民生費	15万6,920	老人・障がい者・児童(保育所、留守家庭児童クラブ)の福祉
衛生費	2万9,244	環境センター、各種健診、休日夜間救急センター
労働費	1,995	労働者福祉
農林水産業費	5,651	農林水産業への支援、有害鳥獣対策、農村環境の保全
商工費	6,773	商工業への支援、観光振興
土木費	2万7,661	市道・市営住宅・都市公園・下水道の維持管理
消防費	1万4,943	消防団の運営支援、(消防救急体制の維持)
教育費	4万1,801	学校運営、学校給食センター、公民館、図書館、文化・スポーツ施設
公債費	3万9,830	これまでの借金の返済
その他	579	災害復旧費、予備費など

◎市長選挙の年であるため、補助金などの政策的な経費は6月議会で肉付けされます。

◎この他に、国民健康保険、介護保険、公共下水道などは特別会計で、水道、工業用水道は企業会計で事業が実施されています。

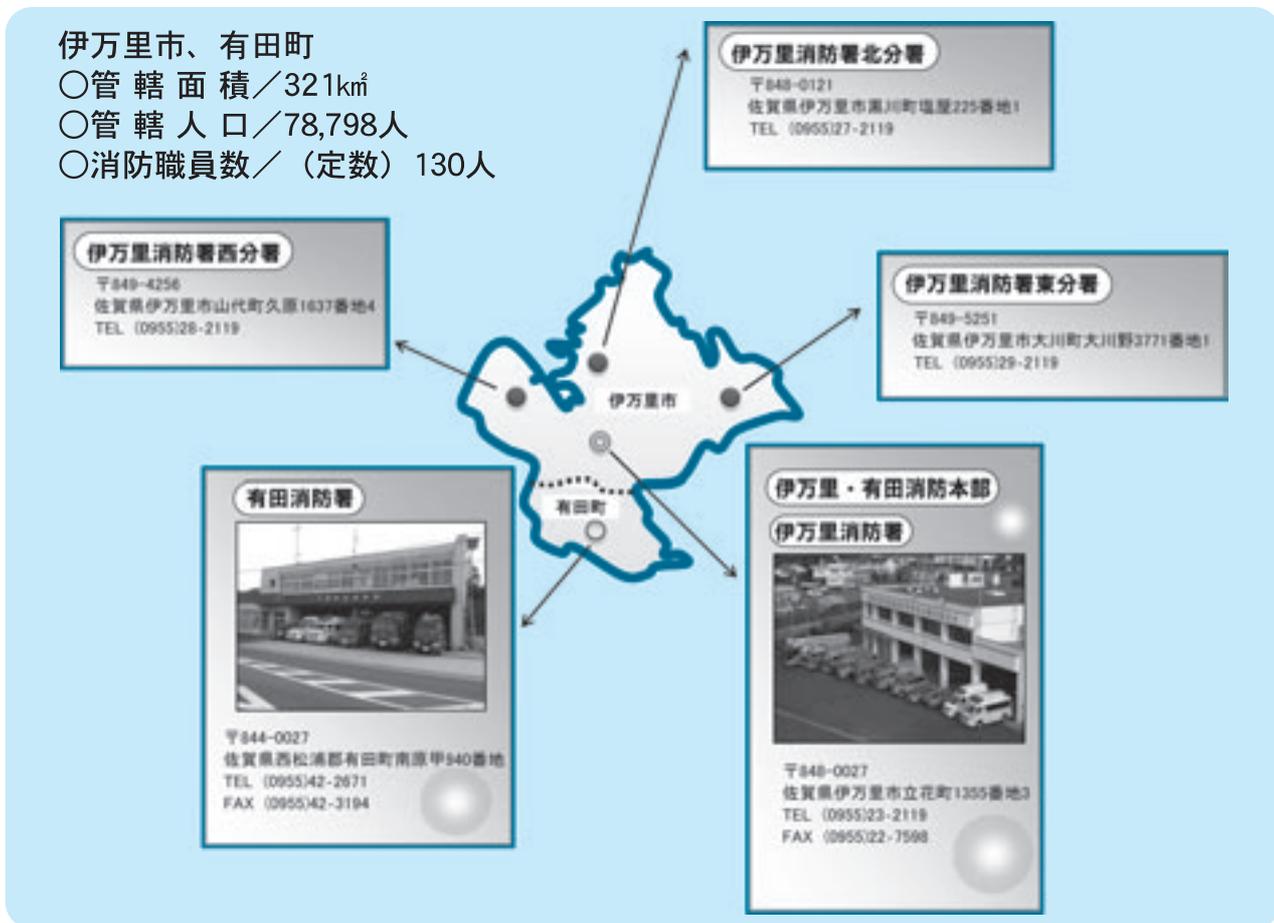
◎予算に過不足が生じた場合や、新たな事業が行われる場合には、原則として6、9、12、3月議会で補正予算が提案されます。

◎伊万里市の「予算（説明）書」は事業別に表記されており、それぞれの事業がどれくらいの予算で計画されているかを見ることが可能です。また、別冊の「予算の概要」には主な事業の内容が説明されています。なお「予算の概要」は市のホームページに掲載。これに加えて「予算書」は市役所1階市民サービスコーナーと市民図書館で閲覧できます。



# 伊万里・有田消防本部がスタートしました

住民サービスの向上などの目的で進めてきた協議に基づき、4月1日から消防が広域化されました。



◎消防署、分署の位置や電話番号などは変わりません。

◎これまでは別々に行ってきた119番通報の受付を、伊万里・有田消防本部通信指令室で一括して行います。これにより、業務の効率化を図ると共に、市町境界線付近で発生した災害への素早い対応が図られます。

◎消防団は、地域に密着した活動のため、これまで通り両市町での管轄となります。

## ★広域化の意義

### 住民サービスの向上

\* 域内でバランスのとれた配置となり、大きな災害が発生した際には、複数の消防署や分署からの出動が可能となり、初期段階から消防力（人員や車両）の強化を図ることができます。また、現場到着時間の短縮にもつながります。

### 財政負担の軽減

\* 特殊車両や各種機材の重複投資を回避し、計画的で効率的な整備が可能となります。25年度に導入した消防緊急通信指令システムや消防救急無線デジタル化に伴う整備も、両市町合同で行ったため、大幅な経費削減ができました。

### 消防体制の基盤の強化

\* 特殊車両（はしご車、救助工作車、科学車など）や高機能な資機材の確保が、広域化のスケールメリット（規模が大きくなることによる効果）によって、効率的な整備につながり、さらなる消防力の向上につながります。

特集  
伊万里・有田消防本部がスタートしました

## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部（戸籍・住民登録等）、出納室、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

本委員会に付託されました条例議案5件、予算議案2件、一般議案1件について審査した結果、原案の通り可決すべきものと決定しました。主な内容は以下の通りです。

### 総務部関係

- ・人事院勧告による55歳以上の職員の昇給停止と、国交省へ派遣する職員の地域手当、災害時に職員の派遣を受ける場合の手当に関する条例の改正（いずれも国の基準に合わせるもの）
- ・県の補助事業を活用し、市民センターに続き市民会館楽屋のトイレを洋式化。  
（意見）成人式や日舞の発表会など和服での利用も多い市民会館ホール側トイレの洋式を増やすべきではないか。
- ・市民センター舞台照明の更新 …8,176万円

### 政策経営部関係

- ・いまりんバス（市街地線、地域線、郊外線）運行 ……1,571万円
- ・元気バス運行 ……440万円（半年分）
- ・甲子園プロジェクト ……56万円  
（意見）5月に県内である大会への出場校を招くために当初予算での計上となっているが、今後は開催時期の問題についても市内チームとの意見交換が必要ではないか。
- ・大連市友好交流派遣団 ……81万円  
（意見）所期の目的である「市の活性化」につながるよう努力を。

### 消防本部関係

- ・伊万里・有田消防組合運営負担金 ……7億6803万円  
運営費は伊万里65%、有田35%での負担と規約で決められている。
- ・市の組織としては、総務部に理事（組合消防長に出向）と消防調整課（併任辞令）を設け、その下に消防団係を置く。

### 再任用制度について

法律で定められている再任用制度の内容と、再任用職員を公民館長に充てる事の政策決定プロセスについての説明を受けた。

2013年 1月22日	第1回庁内プロジェクト研究会 （総務課、企画政策課、教育委員会の副課長）
4月、5月	第2回、第3回研究会
6月	55歳～59歳職員への意向調査アンケート
8月	第4回研究会、素案づくり
8月、9月	担当課長会
9月	担当部長会
10月1日	二役協議
10月15日	市長決裁
10月22日	組合合意

- ・12月議会終了後、教育委員会から正副議長、文教厚生正副委員長へ報告  
（意見）システム変更であると同時に市内全域に及ぶことでもあり、早い時期に全協を開いて説明するべきではなかったか。また組合との交渉事を公開している自治体もあり、今後はやり方を考えるべきではないか。

### 伊万里駅バス停について

- ・バスセンター廃止後、議会からも問題提起していた伊万里駅デッキ下に大型バスが停車することについて、バス運転手などとの意見交換により、「現在のバス停付近の歩道を狭め、バスの停車帯を確保する」という当初の方針をやめ、改修は行わない旨の報告を受けた。  
（意見）交通安全対策に関する附属機関の意見も聞いてはどうか。

◎樋渡 雅純 ○梶山 太  
内山 泰宏 馬場 繁 多久島 繁  
前田 久年 笠原 義久 盛 泰子

## 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会

当委員会に付託されました条例議案5件、一般議案1件、平成25年度一般会計補正予算、特別会計補正予算3件、平成26年度一般会計予算、特別会計予算3件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は下記のとおりです。

## 条例議案

○伊万里市病後児保育室すこやか条例制定について  
○社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定についてのうち

第4条 伊万里市廃棄物の減量及び適正処理並びに環境美化に関する条例の一部改正

第19条 伊万里市立小中学校施設使用条例の一部改正

第20条 伊万里市公民館設置条例の一部改正

第21条 伊万里市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

○地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定についてのうち

第2条 伊万里市社会教育委員条例の一部改正

第3条 伊万里市青少年問題協議会設置条例の一部改正

○特定事業契約締結の変更について（伊万里市学校給食センター整備事業）

## 平成25年度一般会計補正予算議案

## 民生費

○身体障害者更正医療給付事業 504万5千円  
高額医療件数の増加により、医療給付費の不足が見込まれるための増額補正。

○公立保育園耐震改修事業 ……140万1千円  
国の第1次補正予算の社会資本整備総合給付金（防災・安全交付金）を活用し、大川保育園の耐震補強設計を行う。

## 衛生費

○不妊治療エンゼルサポート事業 ……40万円  
不妊治療における経済的負担の軽減を図るため、治療に要する経費の一部を助成するもので当初見込30人が年間見込38人になったため。

## 教育費

○教育振興奨励基金 ……4,380万円  
県の先進的ICT利活用教育推進事業臨時交付金を活用し、平成26年度に小中学校に電子黒板を配置することから、教育振興奨励基金への積み立てを行うもの。

○スポーツ合宿誘致推進事業 ……5万円（補正額）  
＝55万円（年間見込）－50万円（既決）  
スポーツ合宿を誘致し、市民のスポーツに関する意識を高めるとともに協議力の向上を

図るため、本市でスポーツ合宿を実施する団体に対しその経費の一部を助成するもの。

○体育施設耐震改修事業 ……952万1千円  
国の第1次補正予算の社会資本整備総合給付金（防災・安全交付金）を活用し、国見台体育館外2施設の耐震補強を行う。

## 平成26年度一般会計予算議案

## 民生費

○私立保育園支援事業 ……13億5322万3千円  
私立18保育園及び市外保育園の運営経費を負担するもの。

○生活保護費支給事業 ……11億6680万7千円  
（負担割合 国3/4 市1/4）

生活困窮者に対して、必要な保護を行うことにより最低限度の生活を保障し、自立を助長する。

## 衛生費

○環境センター管理運営事業 2億8634万1千円  
市内から排出されたごみを衛生的かつ適正に処理するため、老朽化した焼却施設を安全に稼働できるように管理運営を行う。

○ごみ処理広域化推進事業 1億8794万7千円  
（負担金合計8億4092万7千円 伊万里市22.35%）

佐賀県西部4市5町で構成されている佐賀県西部広域環境組合に対し経費を負担し、新施設の建設推進を図る。今年度はごみ処理施設建設工事、取付道路維持補修工事等を実施。

○伊万里・有田地区衛生組合運営負担金 ……2億8461万1千円

伊万里・有田地区衛生組合が行うし尿等処理・火葬場事業に対しその運営経費。

○伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金 ……2億1201万2千円

伊万里・有田地区医療福祉組合が行う病院事業に対し、その運営経費を負担する。

## 教育費

下記3つの議案に関し当委員会として人員のさらなる充実を求めました。

○スクールカウンセラー配置事業 ……297万円  
（県1/3 市2/3）2名

教育相談の専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを小学校に配置し、不登校やいじめなど、子どもや保護者が抱える悩みについて適切なカウンセリングを実施する。

○特別支援児童生徒サポート事業 ……1,247万2千円（支援員12名）

小中学校において学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）、四体不自由等の特別な支援を必要とする児童生徒に指導員を配置し、学習・生活支援を行う。

○外国語指導助手（ALT）配置事業 ……592万8千円（3名）

市内の小中学校へ外国語指導助手（ALT）を派遣し、英語教育や授業の補助を行い、子どもたちの外国語によるコミュニケーション能力や国際感覚を養う事業。

◎草野 譲 ○山口 恭寿  
東 真生 副島 明 松永 孝三  
松尾 雅宏 渡邊 英洋 福田 喜一

## 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託されました、条例議案4件、平成25年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算3件、平成26年度一般会計予算及び特別会計予算6件、計15件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。議案の内容及び質疑は、次のとおりです。

## 【条例議案】

議案第4号は、消費税アップに伴い、当委員会の所管する施設の使用料及び手数料を改正するものです。

議案第8号は、地域農業連携推進員に報酬を支給するものです。

議案第10号は、市営幸善町駐車場について、利用者が少ないことと、周辺に民営の駐車場が存するので、これを廃止するものです。

議案第11号は、大川内山キャンプ場について、利用者減と危険性の危惧により、これを廃止するものです。

## 【25年度分補正予算議案】

議案第18号は、平成25年度一般会計補正予算のうち、当委員会が所管する事項で、事業費の確定により補正するものですが、農林水産業費の強い農業づくり交付金事業で、資材の調達に不測の日数を要したことから、工事の年度内完了が困難になったため、予算の明許繰越することについて、事業採択審査のあり方などに多くの議論がありました。

議案第21号、22号及び24号のそれぞれに、平成25年度公共下水道事業、市営駐車場、水道事業の3特別会計補正予算については、事業費の確定により予算の補正を行うもので、特に議論はありませんでした。

## 【26年度分予算議案】

議案第25号は、平成26年度一般会計予算のうち、当委員会が所管する事項についてですが、農業委員の選挙について、選任方法等検討すべきではないかなど議論がありました。

また、大坪バイパスを現在の市民会館横までの道路を延長して、黒川～松島線バイパスにつなぐ計画があることから、馬伏、松島地区の排水対策として雨水渠及び排水機場の整備を行うことが決まりました。

議案第28号、29号、30号、33号及び34号平成26年度立花台地開発事業、市営駐車場、水道事業及び工業用水道事業の6特別会計予算については、特に議論はありませんでした。

## 【水道事業特別会計】

平成26年度特別会計予算の主なものは、有田川浄水場の高度浄水処理施設への更新、老朽管更新の他、水道未給水地区をなくす取組として、平成22年度～25年度で行った「山代町野頭地区」「大坪町屋敷野地区」「南波多町大野岳地区」に引き続き、平成26年度は波多津町木場深谷地区、同じく大和木地区の簡易水道の給水区域を拡大するものです。

## 【工業用水道事業特別会計】

平成26年度事業として、大里ポンプ場流量計更新、都川内ダム施設修繕負担金、第1工業用水である長浜浄水場の排水設備更新と、貯水槽1槽の更新を行います。

◎高木 久彦 ○井手 勲  
松尾 博幸 香月 孝夫 前田 和人  
井手 清敏 占野 秀男 田中 啓三

## 防災・環境施設対策調査特別委員会

### 1. 防災行政について

- (1)玄海原子力発電所の安全対策について  
2月4日、九電の担当者を招き、福島での事故を踏まえた安全対策や原子力規制委員会による新規制基準適合審査の状況、今後の原子炉の稼働方針等の説明を受け、2月26日には現地視察を実施し、安全対策として進められている施設工事や新たな機材の配備状況について説明を受けた。
- (2)わがまち・わが家の防災マップ作成事業について  
新年度は牧島地区、大坪地区、大川町、松浦町、山代町で取り組まれる予定。
- (3)原子力防災知識普及啓発用放射線測定器について  
3種類の放射線測定器(サーベイメータ)が佐賀県により市役所や消防署、公民館等のほか、伊万里警察署に配備された。市民への貸し出しや学校での授業などで活用予定。
- (4)安定ヨウ素剤の追加配備について  
服用対象年齢40歳未満で、市内38箇所、61,000人分(成人換算)が配備済。原子力規制委員会から対象年齢を全年齢に拡大す

るとの新方針が示され、追加分として35,500人分が市役所と各町公民館に配備される。

### (5)佐賀県総合防災訓練について

県総合防災訓練が伊万里・唐津地区を会場として5月18日に実施予定。市内では立花小学校を会場として、地区の住民約150名が参加し、陸上自衛隊、医師会、県警などによる避難訓練等のほか、緊急速報メールの送信などが計画されている。

### 2. 佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設について

#### (1)平成26年佐賀県西部広域環境組合予算について

平成26年度は施設本体工事が本格的に始まるため、72億3,458万7千円の予算。事業もいよいよ佳境を迎える。また、市が行う地域振興策事業は、松浦町運動広場の拡張及び整備、スポーツ・レクリエーション施設の整備、市道2路線の改良が予定されている。

◎前田 久年 ○東 真生  
副島 明 多久島 繁  
草野 譲 樋渡 雅純 高木 久彦

## 交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

### 1. 西九州自動車道の整備について

#### ①工事の進捗状況について

北波多ICから谷口IC(仮称)間及び今福IC(仮称)から山代IC(仮称)間については、平成26年度内の供用開始に向けて順調に進んでいることを確認した。また、伊万里東ICについては、平成29年度供用開始予定である。

その他のICについては、まだ供用開始時期等は決定していないが、設計や用地について地元への説明会が始まっている状況である。

#### ②要望活動について

本委員会は、伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の構成員として、早期全線開通に向けての地元の熱意を形にするべく、3市1町議会で連携し要望活動等を継続実施していく予定である。

### 2. 港湾について

①今年度、伊万里港ではマイナス13m岸壁及びガントリークレーンが供用開始され、順調に稼働し荷役作業の効率化が実現している。今後は航路泊地の浚渫が継続実施される。

また、伊万里湾大橋の瀬戸久原線については、橋梁4車線化の事業が来年度終了見込みで実施されている。

#### ②コンテナ取扱い

平成25年は他の港との料金格差や検疫の関係などが原因で輸出入含めた全体のコンテナ数は約11%の減となっているが、現時点

では問題解決が進み、来年度は増加が見込める様子である。

さらにポートセールス活動など伊万里港のPRをはじめ集荷活動に注力されるよう期待したい。

### 3. 企業誘致について

昨年4月から本年3月1日までの企業訪問・来訪による立地勧奨は延べ30社に対し38回、立地企業へのフォローアップ活動は延べ56社に対し191回行われている。

今年度から強化されたオール佐賀での企業誘致活動の取り組みとして、本年1月に佐賀県関西中京営業本部との合同で関西地区8社への企業訪問が行われた。

平成25年度では新たに2件の工業団地進出があり、また立地企業の設備投資が6件行われるなど活動の成果が表れた。

一方で、誘致可能な用地が少なくなっており、企業誘致の受け皿として新たな工業用地の確保が命題である。浦ノ崎埋立地の用途変更、工業団地化の進捗に更なる期待が高まる。

また、伊万里市としての魅力をさらに高め企業誘致にプラスになるよう、全庁で連携しての活動を要望したい。

◎福田 喜一 ○前田 和人  
香月 孝夫 井手 勲  
渡邊 英洋 松尾 博幸 松尾 雅宏

## 一般質問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項
草野 讓 (一問一答)	1. 伊万里有田線(セラミックロード)について (1)伊万里側のルート決定について (2)地滑り区間の問題解決策について (3)早期実現に向けての県への要望について 2. 空き家条例について (1)対象物件の数について (2)所有者等へ行った助言、指導の件数について (3)改善命令や勧告をされた件数について (4)条例での根本的な解決策について (5)法律制定についての市の認識 3. 介護の在り方について (1)要介護者の実体数と受け入れ施設の現状について (2)運営の現状と今後の見通しについて (3)介護をする人の心のケアについて	副島 明 (一問一答)	1. 平成26年度当所予算について (1)歳入において市債が増えた主な原因 (2)政策的経費の予算編成の考え方 (3)6月補正以降の予算と財源 (4)平成25年度までの各部予算の推移について 2. 観光戦略の展開について (1)受け入れの体制について (2)集客が見込める地区の環境整備 (3)黒髪山登山道の整備 (4)各種事業体の連携した一体的な取り組み (5)新しいイメージ戦略の重要性
山口 恭寿 (一問一答)	1. 各町公民館長の公募制変更について 2. 市道白野古賀線について	梶山 太 (一問一答)	1. 学校教育について (1)土曜学校の試験導入をされた経緯・現状・将来展望 (2)木造校舎の建築について (3)小学校低学年英語教育について 2. 難聴者に対する要約筆記について 3. 西九州道路延伸に対応したまちづくりについて
田中 啓三 (一問一答)	1. 市の施設の維持管理に係わる一元化について	井手 勲 (一問一答)	1. 教育行政について 2. 市民の安全を守るための施策について (1)飲酒運転撲滅の取り組み (2)交通死亡事故対策の取り組み (3)建物の耐震・防火対策 3. 不法投棄の現状と今後の対策について 4. 公共施設トイレの洋式(洗浄便座)化計画について
香月 孝夫 (一問一答)	1. 市制60周年を踏まえた「OMOTENASHI」について (1)観光に対する考え方 (2)市民に対する考え方 2. 地域の安全と安心について (1)安定ヨウ素剤、サーバイメーター配備後の取り扱い (2)防災マップ完成後の課題とその対策 (3)非常時に備える「防犯・防災救援ステーション」	盛 泰子 (一問一答)	1. 危機管理について (1)原発事故時の避難所 (2)共助へ向けて (3)九電の安全対策 2. 子ども子育て新システムについて (1)計画づくりの進め方 (2)留守家庭児童クラブ 3. 消防広域化へ向けて (1)組合議会のあり方 (2)救急棟の整備 4. 市民図書館の開館時間延長 5. 佐賀空港リムジンタクシー
高木 久彦 (一問一答)	1. 教育問題について (1)学力向上対策 (2)道徳教育 (3)英語教育 (4)中高一貫校 (5)教員の人事配置 2. 老朽建物の維持管理について (1)保育園、幼稚園、小・中学校 (2)諸施設(公民館、体育館、市民会館など) 3. 国際交流について (1)中国(大連市)との友好関係 (2)韓国、台湾との交流 (3)東南アジア諸国との交流 (4)その他国との交流	東 真生 (一問一答)	1. 伊万里市の学校教育について
井手 清敏 (一問一答)	1. 小中一貫校建設について	多久島 繁 (一問一答)	1. 防災無線整備について (1)整備計画 (2)現在の災害時における周知手段 2. 食育について (1)食のまちづくり推進条例の目的 3. 浦ノ崎廃棄物処理用地の現状について
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 危機管理について (1)被災者支援システムの検討状況 (2)被災者台帳の整備について (3)災害情報の収集としてのITの活用 2. がん検診について (1)がん検診受診勧奨について (2)胃がんリスク検診の導入について 3. 地域包括ケアシステムについて (1)介護保険を取り巻く現状と今後の推移 (2)概要について (3)認知症対策	前田 和人 (一問一答)	1. 伊万里市の将来展望について (1)課題の捉え方 ①自己評価、市民の評価、他市との比較 (2)対策として ①地域経済の活性化、市の魅力づくり、伊万里港整備、西九州自動車道の効果 ②企業誘致への考え方 工業用地問題と全庁挙げての企業誘致への取り組み 2. 伊万里市HPRリニューアルについて (1)リニューアルの概要 (2)今後の計画
		松尾 雅宏 (一問一答)	1. 新たな農業・農村政策等について (1)水田フル活用での戦略作物の位置づけ(専用品種による飼料米) (2)日本型直接支払制度の取り組み (3)26年度県単事業の取り組み状況 2. 各町(地区)公民館長の選任方法について

一般質問

伊万里・有田線について

草野 讓

質問 ①ルート決定について。②地滑り区間の解決策は出来るのか。③新病院も開院し202号線も込み合っている。この県道はバイパス的な意味合いもあり救急搬送道路の役割もある。早期実現を県に強く要望すべき。

答弁 市長、建設部長 ①まだ決定されていない。H27年頃をメドとしたい。②2案あるが河川沿いの案ならば問題解決になる。③計画から25〜26年経過している。早期実現を目指す。

空き家条例について

質問 ①条例の対象物件の数は。②対象者への助言や指導件数は。③解体や代執行権の解決件数は。④国の法律制定が望まれるが。

答弁 市長、建設部長 ①市内、対象物件数は30件。②指導件数として9名の方に文書での通知を致した。③今回1件の解体作業が出来た。今議会において127万9千円の予算を計上している。④これまでの空き家条例継続では、問題解決には難しい面があり、法律制定に向けて今国会で審議をされている。

介護の在り方について

質問 ①介護を受ける実体数は何名なのか。又施設の入人数は。②入居施設に入れない待機介護者の解決策として施設の入居施設の拡大の計画はないか。③本市の運営であるが将来計画は。④介護をする人の心のケアが必要だ。どう取り組むか。

答弁 市民部長 ①要介護認定者数3380名、受け入れ施設222事業所、一日約600名。②保険料と投資の問題、予算とのバランスの考え方。③介護の広域化要望。④一人の対象者に専門のケアマネージャーを相談、訪問業務を実施している。

公民館長の公募制変更について

山口 恭寿

質問 平成17年から続けられて来た公民館長の公募制が、平成26年度より廃止されるのはなぜか。

答弁 教育部長 定年退職する市職員の再任用先を確保するために、公民館長の一般公募を廃止し、職員OBを充てるため。

質問 再任先は公民館長でなくてもいいのではないか。

答弁 総務部長 年金の支給開始年齢引き上げに伴い、地方公務員も定年退職者のうち希望者を再任用しなければならなくなり、今のままではポストがない。

質問 公募制は地域活性化に効果を上げているのに、職員OBのポストのために廃止するのは市民は納得しない。

答弁 市長 公募制は私が始めたものであり、今回の再任用は複雑な思い。14公民館長すべてが再任用で埋まることはないと思うので、今後状況を見ながら公募と平行して行っていきたい。

市道白野古賀線について

質問 古賀川河川改修計画、並びに山田橋改良計画は。

答弁 建設部長 県に問い合わせた所、古賀川の改修計画はなく、山田橋も平成24年に拡幅工事を行ったところで現在計画はない。

質問 特別養護老人ホーム近辺に40世帯程の住宅造成工事が行われており、このままでは混雑が予想される。白野側の国道までの市道をなんとかできないか。

答弁 建設部長 河川や両脇に住宅があるため、大規模な拡幅工事は難しい。地元の同意や理解があれば、蓋のない側溝や路肩の整備を進め改善を図っていきたい。

伊万里市公共施設の維持管理の一元化

田中 啓三

質問 伊万里市の所有する施設については老朽化が進み、昭和40年・50年代に建設された施設が数多くあり、補修や立替え、大規模改修が必要で、限られた財源の中で全ての施設を維持して行くのは困難な状況であり、施設の利用者が少ない施設等については統廃合なりを考える時期にきているのではないかと考えます。

現在、これらの施設管理は各部、所管課で対応されていますが、この維持管理業務を統合設置して、効率的对応できるように専門部署の設置の考えと、また公民館と隣接して老人憩の家が建てられているが、年間1200万円の指定管理料がかかっており、利用者の1日平均10〜14名程度であり、今後公民館との一元化(施設の統合)した管理

一般質問



運営ができないか。

**答弁** 市長・政策経営部長

伊万里市の公共施設については老朽化が進み、久原・楠久の市営住宅を一部入居ストップしており、その他、公民館・小中学校・保育園・老人憩の家等、修繕費も年々増額傾向にあります。

今後は、施設管理を一元化管理に向けて推進本部の中で、公共施設の長寿命化計画、保全計画、立替え、統廃合も含め検討して行きたい。

老人憩の家と公民館との一元化については、施設の在り方、利用者の意見を聞きながら検討を行う。

市制60周年を踏まえた「OMOTENA SHI」について

香月 孝夫

**質問** 観光への取組み状況

**答弁** 産業部長

平成二四年度を観光元年と位置づけ、福岡都市圏からの誘客を図っている。方法として、伊万里フェア開催、高速バス3台へラッピングを行い運行、観光パンフレットやDVD作成、また大型ポスター二種類を二〇数年ぶりに作成や観光アドバイザー2名委嘱など取り組んでいる。

**質問** 市役所が市民に対する、①取組み状況、②1階市民ロビーの美化について。

**答弁** ①政策経営部長

②市長

①ソフト面では「さわやか接遇研修」への参加や「さわやか対応推進週間」の実施などを定期的に行い、またハード面においては、ローカウンスターの設置やベビーベッドなどを設置し好

評である。今後も市民の立場に立ったより良い行政サービスや接遇を目指していく。②ロビーは多くの市民が利用する場であり、利活用の推進を図ると共に、見苦しい点は改善をしていく。

地域の安全と安心について

**質問** 防災マップ完成後の課題とその対策。

**答弁** 総務部長

地区の住宅や道路状況などの変更が考えられるが、事前にデータ化がなされているため、遠慮なく相談してほしい。

**質問** 非常時に備える「防犯・防災救援ステーション」について。

**答弁** 総務部長

飲料自動販売機に、防犯カメラやワイファイ機能、デジタルサイネージ（液晶ディスプレイなどの映像表示装置）を備えたものであり、防犯や災害時などに、効果を発揮すると思われるため、効果の高い場所を検討し試験設置する。

教育問題について

高木 久彦

**質問** 学力向上、道徳教育、英語教育、中高一貫校、教員人事について市の取組みは。

**答弁** 教育長

全国学力調査で、本市6年の知識問題では全国平均より高いが、活用問題では低く、中学3年は知識問題・活用問題とも低い結果であった。県においても、学力向上緊急対策として、指導内容の定着強化や県独自学力テスト等行われる計画である。命を大切にすることを思いやる心、倫理感や正義感など豊かな人間性の育成を目指し、道徳教育の充実を図る必要があると思う。（その他の答弁は省略）

老朽建物の維持管理について

**質問** 保育園、学校、市民会館など多くの公共建物の老朽化が目につく、改築計画は。

正式に友好都市を結んでの交流には費用も嵩むことになるので、新たな友好都市については、今後検討したい。

**答弁** 政策経営部長

公共施設については、一斉に更新時期を向えているが、更新には多額の必要が生じることになる。適切に維持していくために、長寿命化や統廃合、民間活力導入など効率的な管理指針を固め、具体的な計画策定を行いたい。

国際交流について

**質問** 中国大連市とは友好都市を締結し交流が行われているが、近隣諸国など広く交流を行うべきではないか。

**答弁** 政策経営部長

韓国釜山市とは少年スポーツ剣道で、台湾とは国際交流協会25周年で視察団を派遣、マレーシアとは農業指導で、ミャンマーとは浄水施設関係での交流実績がある。

**答弁** 市長

正式に友好都市を結んでの交流には費用も嵩むことになるので、新たな友好都市については、今後検討したい。

一般質問

小中一貫校  
南波多校建設  
について

井手 清敏

**質問** 南波多小中学校は4月から隣接型の小中一貫校として開校しますが、増築することなく、現在の小学校校舎を利用して開校することは、出来なかったのか。

**答弁** 教育部長

現在の小学校校舎では教育施設や教室の数が足りないので無理がある。

**質問** 伊万里中学校校舎建設には、20億から30億程度かかると言われていますが、小中一貫校南波多校の一体型の、学校校舎建設には、いくらかの費用がかかりどれくらいの日数がかかると考えているのか。

**答弁** 教育部長

大体3億円程度かかると思われる。期間については、3年くらいみている。

**質問** 教育委員会としてはいつ頃から一体型の施設整備に、着手するのか。

**答弁** 教育部長

出来るだけ、早く地元とも充分相談しながら一体型校舎建設に向けての、施設整備を進めていきたい。

**質問** 南波多中学校校舎の跡地利用計画については、どのように考えているのか。

**答弁** 教育部長

一体型の校舎建設終了後解体する予定です。

**質問** 市長は一体型の小中一貫校南波多校校舎の施設整備についてはどのように考えているのか。

**答弁** 市長

予算が伴うことでありますから、今後、状況の推移を見ながら、十分に精査して検討していきたい。



危機管理に  
ついて

樋渡 雅純

**質問** 被災者支援システムについては、再度の質問になるが、これは災害時の迅速な行政サービスの提供に力を発揮するものである。被災自治体の声を取り上げさらなる進化を遂げている。

①課題とこれまでの調査は。②災害対策基本法が昨年改正され、被災者台帳の作成への基本指針も策定されることになった。本市でのシステム導入の弾みとなり得ると思うが市の考えは。③雪害対応の際、ツイッター等の利用で災害情報の収集にITが活用されているが考えは。

**答弁** 総務部長

①課題は基本ソフトの違いや、メンテナンス等の維持管理がある。推進のための人的体制も行っている。②整備される被災者台帳の内容が、支援システムと一致するかどうか確認し検討

する。③有効とは考えるが、ツイッターは推奨していない。

がん検診について

**質問** ①乳がん、子宮がんは26年度も無料検診が継続されるが、市の対応は。②胃がんの原因の95%はピロリ菌であることが判明しているようだが、その関係についての認識は。③ピロリ菌対策も、保険適用の拡大等で変化している。現在バリウムによる胃がん検診だが、負担の軽減の点からリスク検査導入やピロリ菌除菌への助成も行われているが、見解は。

**答弁** 市民部長

①子宮頸がんの検診で20歳、乳がんが40歳引き続き行う。再勧奨事業についても実施。②WHOにおいて、明確に発ガン物質とされている。③市独自の実施は考えていないが、今後、国の動向を注視し検討する。地域包括支援システムについては省略。

当初予算に  
ついて

副島 明

**質問** 市債が増えた主要因と予算の区分けは。

**答弁** 政策経営部長

主要要因としては、二里小学校の建設と牧島地区の浸水対策事業があるが、臨時財政特例債が入っている。市が返済すべき市債残高は年々減少している。予算の区分けは、人件費などの義務的経費と施設の維持管理などの経常的経費を当初予算で計上し市長の判断を必要とする政策的経費は六月以降の補正予算で計上します。

**質問** 小中学校の施設の

新築、改築が遅れているよう

だが、これからの政策として重点をおかなければいけないと思うが。

**答弁** 市長

確かにそのように思う。現時点ではそのように思います。

一般質問



観光客の受け入れ体制と環境整備について

質問 西九州道の南波多町谷口までの開通によって拠点となる施設の必要性和りやすい道案内が必要になると思うが。

答弁 産業部長

拠点施設については地元産業界や地元町と検討をする必要はあると思う。また、案内板などはすでに組み立てられている。

質問 大川内山の天神橋改修、公衆トイレ、黒髪山登山道の管理について。

答弁 産業部長

地元からの要望もあり、すでに協議をしている。質問 各事業体の連携の必要性について。

答弁 産業部長

観光客の滞在時間を増やす視点で重要だと思う。

土曜学校について

梶山 太

質問 昨年度より伊万里中学校において土曜学校が試験的に導入されている。①その経緯と②現状について。

答弁 教育長

①文部科学省の方針により伊万里市教育委員会では、実践研究校として伊万里中学校に依頼し、昨年度9月より土曜日等を活用した教育活動に取り組んでいる。

②授業時数が増えることにより、ゆとりある学習活動に取り組めた。部活動の大会等との兼ね合いが難しく全員揃ったの取り組みが出来なかつた。教諭や生徒の声も成果と課題が混在している。

要約筆記について

質問 中途失調者や難聴者との伝達手段である要約筆記を必要とする人数の把握はどれくらいか。

回答 市民部長

本市における身体障害者手帳の所有は平成25年3月現在で3036人。うち聴覚障害者は260人となっている。

質問 人工内耳の年数経過による部品交換や修理は助成の対象となっていない。何らかの対策が必要ではないか。

回答 市民部長

制度創設に向けて市長会をはじめ、様々な機会を通して国・県に対して働きかけていきたい。

回答 市長

聴覚障害者の方は、日常生活における不安は大きい。要約筆記の普及と技術者の育成を図り、福祉の増進に繋げようと今年度初めて要約筆記者養成講座を開催している。

※3の西九州自動車道路延伸によるまちづくりについては、他の議員と重複しているため、ここでは割愛します。

教育行政について

井手 勲

質問 森教育長の二期目の就任に当たり、今後の抱負や、取り組みについて伺います。

答弁 教育長

これまで伊万里市の教育目標であります「人と郷土が輝く教育」をめざし教育内容の充実と多様な活動の場の提供に務めてきた。学力向上 ①授業力の強化、②授業と家庭学習とのつながりの強化、③小中連携の強化を重点的に行い、ICT利活用した授業を推進しながら、伊万里市児童生徒の学力向上に努めています。

道徳教育 心の教育の充実を計る為に ①いのちの教育、②いまりつ子しぐさ、③いまり市童謡歌集を活用した教育の推進。いじめ問題 いじめ防止対策推進法に基づき体制づくりに取り組んでいる。いじめ

めを起こさない風土づくり、未然防止、早期発見、早期対応、再発防止に努める。市民図書館 これまで市民と共に育つ市民の為に図書館づくりを進めてきた。今後は子ども向けや高齢者向けのサービスと共に働く人の世代向けに、図書館が仕事や生活に役立つ事をPRしサービスを展開したい。

公共施設トイレの洋式化計画について

質問 市全体の公共施設のウォッシュレット化についての考えをお伺いします。

答弁 市長

まさにこれは多くの市民の皆様が思われている事ではないかと思っている。多くの公共施設のトイレについては、ウォッシュレット付に移行していくべきではないかと考えている。



一般質問

危機管理

盛 泰子

**質問** ①九電から提出された安全対策資料は福島の教訓が生かされていない。市長の考えは。②原発災害時、自家用車避難が原則とされているが、避難先の駐車場は確保されているのか。

**答弁** ①市長、②総務部長  
①この資料は新基準への対応を述べているだけであり、原発の人的体制の説明もなされておらず、客観的に判断する材料にはならない。  
②県は駐車場充足率の計算をしていない。受入れ自治体(3市2町)の誘導による。

留守家庭児童クラブの拡大

**質問** 法改正により来年度から高学年の受入れを実施予定だが、どのような計画か。特に長期休暇中の状況を把握を。

**答弁** 教育部長  
アンケートを実施し年次的に実施の予定。中心部三校では場所の確保へ向けて協議中。

佐賀空港リムジンタクシー運行要請

**質問** 佐賀空港活性化の目的で毎年7万円を負担しているが、伊万里市民への「恩恵」がない。外国便や成田便就航の他、東京発最終便が19時台になるため、伊万里へのリムジンタクシー運行の要請を。

**答弁** 産業部長  
空港の利便性がアップする時でもあり、県に積極的に要請する。

消防広域化(救急棟の設置)

**質問** 出勤先から帰署した救急車をクリーンにする場で、個室の仮眠室も不可欠。広域化後も危機管理として提案していくべき。

**答弁** 市長  
必要性は認識するので両市町での対応を検討していく。

伊万里市の教育行政について

東 真生

**質問** 電子黒板等の整備状況について。

**回答** 教育長  
現在は、市内小中学校において36台を整備している状況で、各小中学校に1・2台だが平成26年度から平成27年度の2日間間で各教室に配備をするよう考えている。



電子黒板についての説明を受ける

**質問** タブレット端末を利用した反転授業の導入について。

**回答** 教育長  
武雄市で導入されている反転授業での成果や課題を踏まえ導入を検討していきたい。



タブレット端末

防災行政無線の整備を急げ

多久島 繁

**質問** 県内市町村で防災行政無線整備が出来ていないのは伊万里市と、もう一つの市町村のみだ、いつまでに整備を行うのか。

**答弁** 総務部長  
整備に8億円程度の資金が必要となり、期間に6年程かかるが設置に向けて整備計画に取り掛かる。

**質問** 現在、行政区にある放送設備を有効活用するために、放送設備維持管理に対する助成は行わないのか。

**答弁** 総務部長  
助成を行うつもりはない。

食のまちづくり推進条例の徹底を

**質問** 食育のなかで多くの活動がなされています。推進条例が施行され5年経ちますが「早寝・早起き・朝ごはん」を謳った条例で一番大事な目的である「朝ごはん」摂取率が成人に至つ

一般質問



では悪くなっている。しかも朝食抜きが習慣になっているのは問題ではないか。

**答弁 政策経営部長**

子どもたちの成果に比べ、成年が朝ごはんを食べない比率が高くなっている。平成29年度目標の5%まで下げる努力をする。

**浦ノ崎地区廃棄物処理用地を早期の産業用地化へ**

**質問** 知事も港湾計画を改定すると言われているので、1年でも早く港湾計画を進めてほしい。そして一刻も早く企業への立地セールスを始めてもらいたい。その為にも国土交通省本省からのキャリアとしての立場を利用してもらいたい。

**答弁 政策経営副部長**

港湾計画の変更、登記等を考えると、早くても3年程度かかると思われるが、早期の整備に向けて努力する。

**伊万里の将来展望について**

前田 和人

**質問** 伊万里市の持続的な発展を目指す時に、課題・反省点をしっかり捉えて、次に対処する事が肝要であります。これまでの行政運営の評価と課題をどう認識しているか。

**答弁 市長**

これまで地域インフラ整備を進めてきた成果は出たが、今後の課題として、財政問題を睨みながら、市民の安心安全、教育、企業誘致用地早期確保等へ邁進したい。

**質問** 武雄市の元気に負けない伊万里の前進を望むが。

**答弁 市長**

武雄市のニユース性ある市政運営など学ぶべき点は参考にしながら、伊万里らしい元気度アップを目指す。  
**質問** 地域活性化を後押しするインフラ整備である伊万里港の整備が着々と進んできたが、地域の利益に結

びつ次の方策は。

**答弁 政策経営部長**

整備の進展を受けて、官民一体のポートセールスはじめコンテナ集荷活動や、他港との競争力アップにつながる施策を継続実施していきたい。

**質問** 企業誘致推進のカギは、伊万里市の魅力をアップしていく事に他ならない。全庁あげてのテーマであると考えますが、改善すべき諸条件の解決策について、関係部署との連携は充分なされているか。

**答弁 産業部長**

必要に応じて連絡会議等で情報共有していきたい。

**伊万里市HPのリニューアル**

**質問** この度、HPが見やすく改善されたが、市民周知と今後の活用対策は。

**答弁 総務部長**

広報いまり4月号で案内予定であり、コンテンツの充実を図る意味では、情報の更新効率アップと意識面も含めた職員研修を実施している。

**新たな農業・農村政策について**

松尾 雅宏

**質問** 本年から実施される米政策で国が進める飼料稲はどの様な位置付けになるのか。

**答弁 産業部長**

水田再生協議会では、供給先、品種混入、種子確保の課題があるので本年は試験栽培とし15ヘクタールを予定している。

**質問** そんな悠長にしているのは駄目だ。中山間地を抱える伊万里市では早急な取り組みをすべき。例えば反収が期待できる平坦地で飼料稲に取り組み、山間地では全ての水田に普通稲を栽培する様な市全体の水田フル活用を実践すべき。国が示す専用品種による飼料稲は普通稲より所得がはるかに高い故、「転作を本作に」との考えに改めなければならぬ。幾つかの課題はあるが超えねばならないハードルで、又越えられるハ-

ドルでもある。  
**答弁 産業部長**

もう少し作付けまでの期間があるので、よく伊万里市農協と話し合っていく。

**質問** 県が行う農業機械、園芸、畜産の補助事業は市・町の1割負担を義務付けられており、この負担を出来ずに要望の全てに取り組めない。基金を創設し取り組む様にしてはどうか。

**答弁 市長**

県事業に市の負担を付けられずに農家に迷惑を掛けたい。提案の基金を検討し要望に応えたい。又「日本型直接支払」制度も農業は伊万里市の中心的産業であり、交付税措置を見極めながら取り組みたいと考える。

## 2013年度 行政視察受け入れの状況(項目別)

## 編集後記など

項目	来訪議会名(人数、順不同)
子育て支援センター	兵庫県播磨町(3)
食のまちづくり	千葉県成田市(9)
家 読	東京都三鷹市(9)
観光行政	和歌山県有田市(5)
臨海部の整備、企業誘致	青森県八戸市(1)
伊万里焼の振興	石川県能美市(10)
いじめなし都市宣言	兵庫県三木市(10)
甲子園プロジェクト	兵庫県播磨町(3)、熊本県人吉市(2)
伊万里港整備	千葉県銚子市(2)、香川県坂出市(9)
学校給食センター	山口県宇部市(10)、北海道(15)
定住自立圏構想	北海道赤平市(5)、埼玉県東松山市(9)
行革、アウトソーシング	熊本県菊陽町(3)、千葉県四街道市(9)
空き家条例	神奈川県逗子市(11)、埼玉県幸手市・杉戸町(4)、 岡山県津山市(4)、岐阜県関市(3)
婚活応援	滋賀県長浜市(8)、静岡県富士市(5)、広島県福山市(6)、 長野県駒ヶ根市(3)
防災マップ、原子力防災	新潟県小千谷市(8)、名古屋市(1)、新潟県見附市(9)、 兵庫県播磨町(3)
ファイナンシャルプランナー による納税相談	兵庫県三木市(10)、愛媛県松山市(1) 宮崎県小林市(8)、 徳島県北島町(8)、新潟県(16)、神奈川県藤沢市(1)
市民図書館	愛媛県今治市(2)、長崎県大村市(6)、三重県鈴鹿市(8)、 福岡県田川市(9)、栃木県鹿沼市(4)、埼玉県戸田市(8)、 滋賀県大津市(6)、山梨県山梨市(5)、茨城県北茨城市(9)、 宮城県多賀城市(4)、宮城県東松島市(5)、福岡県筑紫野市(6)、 東京都東村山市(6)、東京都小平市(5)、東京都武蔵野市(7)、 愛媛県今治市(2)、新潟県(16)

**発行** 伊万里市議会  
伊万里市立花町二二五五-一  
☎0955-23-25994  
FAX0955-23-1277  
E-mail: gka@city.inari.lg.jp

**印刷** 市議会だより編集委員会  
山口印刷株式会社

**編集委員**  
◎占野 秀男 ○香月 孝夫 東 真生  
井手 清敏 山口 恭寿 盛 泰子  
松尾 博幸 松永 孝三

**編集後記**

平成26年度がスタートしました。今回の議会においても、多くの案件について審査し、伊万里市の当初予算を決定しました。

編集委員会では、市民のみなさんにお伝えする内容について協議し、今回は二つの特集を組んでおります。また、15人の議員から様々な課題についての一般質問がありました。市政に対する関心を高め、問題を解決する上においても一般質問は重要なポイントです。ゆっくりご覧ください。

任期もあと1年。「議会の広報」としての議会だよりの更なる充実を図りたいと思います。

(香)